

第 11 回 山陰摂食・嚥下研究会 講演会プログラム

～食べる事が出来なくなった時の選択～

日 時 : 平成 30 年 5 月 12 日 (土) 13 時 30 分～ 17 時 00 分

場 所 : 松江市立病院がんセンター3 階講堂

参加費 : 500 円 (釣銭がいらないようご協力願います)

事前参加登録 : 5 月 7 日 (月) 19 時まで

(予約なしで当日参加もできます。事前予約者には資料を配布します)

予約方法 : 当研究会 HP (山陰摂食) で検索) 参加予約フォームよりお申込み下さい。

受 付 : 12 時 30 分～

<開会> 13:25 開会挨拶 福永典子 (第 11 回山陰摂食・嚥下研究会 共同代表世話人)

Session 1 シンポジウム

第 1 部 : シンポジスト発表 (13:30～14:30), 第 2 部 : 討論 (14:40～15:30)

『食べる事が出来なくなった時の選択 ～摂食嚥下の臨床倫理～』

司会 : 福永典子 (松江市立病院リハビリテーション科) 医師

野津有希 (松江赤十字病院リハビリテーション課) 言語聴覚士

シンポジスト : 在宅 : 山田顕士 (松江市国民健康保険来待診療所 院長) 医師

在宅 : 錦織美智枝 (松江生協在宅支援センター ケアマネ) 看護師

施設 : 武田和也 (特別養護老人ホームうぐいす苑 課長) 介護福祉士

病院 : 安食真知子 (山陰労災病院 病棟看護師) 看護師

在宅・介護施設、病院それぞれの立場から意思決定プロセスの取り組みや現場の課題などを討論します。

(休憩) 15:30～15:40

<嚥下関連商品の紹介> 15:40～16:00 (企業展示の会社より)

Session 2 特別講演 (16:00～17:00)

『重度嚥下障害者に対する倫理的視点を育もう』

演者 : 金沢英哲 (浜松市リハビリテーション病院 えんげと声のセンター)

座長 : 仙田直之 (総合病院 松江生協病院 耳鼻咽喉科)

(共催 : 武田薬品工業株式会社)

患者—医療者間の信頼関係 (いわゆる阿吽の呼吸) に基づく方針決定。医療者の経験、無意識かつ善意の価値観に基づく“お勧めの方針”と“先生がいちばん良いと思う方法で”という患者。“延命治療を希望しない”患者への治療範囲など、実はそれぞれに倫理的ジレンマが多数潜在しているが、多くの臨床場面では気づかれにくい。特に医学的事項の考察が曖昧だと方針決定基盤は脆弱になりえる。重度嚥下障害者を例に解説する。

<開会> 17:00 閉会挨拶 仙田直之 (第 11 回山陰・摂食嚥下研究会 共同代表世話人)

武田薬品工業株式会社

☆駐車場について、研究会受付にて 100 円で無料券をお渡しします。

☆本研究会は、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士単位セミナー (5 単位) です

☆お問合せは、第 11 回山陰摂食・嚥下研究会事務局 : 総合病院 松江生協病院 耳鼻咽喉科 仙田直之

〒690-8522 島根県松江市西津田 8 丁目 8-8

TEL: 0852-23-1111 / FAX: 0852-26-4104

